

平成24年度第2回しなの鉄道活性化協議会 議事概要

日時 平成24年10月25日(木)

13時40分～15時00分

場所 上田市 上田駅前ビル「パレオ」

1 開 会

2 会議成立の報告（事務局）

委員26名中14名が出席。出席者が過半数を超えており会議が成立していることを報告。
（協議会規約第6条第2項）

3 あいさつ（しなの鉄道活性化協議会会長）

3年目を迎えた今年度の活性化事業においては、5月の1回目の協議会でご承認いただいた事業計画に沿って実施しているところがございますが、しなの鉄道が協議会から委託を受けて単独で実施している事業の他に、例えば増便事業、駅などの改築、企画列車の運行など沿線の皆様のご支援、ご協力をいただきまして実施している事業も多数ございます。本日の会議では一昨年8月から実施しております軽井沢ー小諸間の実証運行の状況、9月に実施した利用者アンケートの結果につきましてご報告をさせていただき、今後の取り扱いについてご意見をいただければ幸いです。

また、前回の協議会において協議した増客推進策の実施状況、年間を通して実施しております開業15周年記念事業についてもご報告をさせていただきたいと思っております。是非とも活発で、忌憚のないご意見を出していただくようお願いをいたしまして、開会にあたりましてのご挨拶といたします。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

4 協議事項（議長：会長 協議会規約第6条第1項）

（1）平成24年度事業委託契約書の締結について

事務局から「資料1」を報告。

（質問・意見等なし）

（2）軽井沢ー小諸間増便実証運行について

事務局から「資料2」を説明。

<議長>

25年度の実証運行については、これから皆様のご意見を聞いて基本的な方向を定めていきたいと思っておりますが、一昨年8月に実証運行を始めて今年が

3年計画の最終年でございます。2年間は国庫補助がついておりましたが、今年は単独で、市町村としなの鉄道の負担という形で運行をしております。いずれにしても最終年度ということで、これを総括して来年度以降どうするか議論していかなければいけないと思われまます。今の説明の中にあつたように運行状況については全区間と比べると効果があつたという数値が出ており、利用者の傾向につきましては過去2年間の項目に調査項目を+αし、もっと多角的な視点で分析できるよう調査をしたものです。総じて実証運行に対する評価はあつたのではないかと感じております。その評価のうえで来年度以降も継続してほしいという声が圧倒的であるということではないかと思つております。そのようなことを含めてご質問、ご意見があればお出しをいただきたいと思ひます。

(質疑・意見等)

ア 町の方に観光客等、別荘客等から寄せられている意見につきましても、この増便については引き続きやっていただきたいという声が届いております。また、小諸市さん、御代田町さんと話をしたうえで、3市町共同で、それなりにお金を出してやると決めた時にも、全国の地方鉄道が乗らないから減便していくという形で廃止に追い込まれたというような事例がある。長野県内でもつい最近ありましたけれども、そのような事を当初話しまして、しなの鉄道さんが元気なうちにビタミン剤を与えたいという主旨でしなの鉄道さんのご理解を得て始めた事業でありますけれども、このまま継続させていただければと考えております。

イ 「ア」と同意見

ウ 「ア」と同意見

<議 長>

先程の説明の中にもありましたが、来年度以降どうするか、今年は3年計画の最終年でございます。正式には事業計画の中で決める形で決定していきたいと思ひますが、市町においては予算の関係もありますので、基本的な方向付けだけはおきたいと思つております。今、軽井沢町さんの方から来年度も引き続き継続をして実施をしたいという意見がございました。利用者アンケートでもそのような意見が圧倒的であることを踏まえると、25年度も継続して実施したいと思つております。ただ、この事業は今年から国庫補助が付かなくなった状況もございますし、その他にも色々な問題がございます。例えば新幹線との接続効果なども狙つており、最終新幹線との接続も昨年からは始めていますが、効果的にはもう少しということもございます。当面25年度は継続実施する中で問題点なども十分検証をしながら、それ以降の方針についても見極めていきたいと思つておりますので、25年度は実施する方向で検討したいと思つておりますが、いかがでしょうか。

(異議なし)

<議 長>

ご異論がないようですので、25年度は実施する方向で今後検討し、やり方についてはこれから詰めていきたいと思えます。正式には年を明けて事業計画を決める際に決定したいと思えますので、どうぞよろしくお願いを致します。

(3) 地域との連携と増客推進策について

事務局から「資料3」を説明。

<議 長>

この関係につきましては1回目の協議会において増客作戦ということでご紹介致しました。今日まで、それに基づいて様々な取り組みをしてきた状況をまとめたものでございます。1回目の時にも申し上げましたが、計画はできたけれども問題はこれからであり、これをどう実施し、実施だけではなく、どう効果を出していくかがポイントであると申し上げましたが、現在までの進捗状況、効果という点ではまだかなと思っています。これから更にもう一歩進めた形で努力する必要があり、地域の皆様の知恵を是非お借りしていきたいと思っております。

ただいまの説明を踏まえてご意見があれば是非出していただきたいと思えます。いかがでしょうか。

エ ⑥の広告宣伝力の強化の中で、10月1日にホームページリニューアルされたということで沿線自治体様の情報発信をしませんかという見出しがあり、下の方に各自治体様のホームページへの直接リンクを貼れますという吹き出しがありますが、これは直接自治体のホームページでなくても自治体の、例えば観光協会のホームページへのリンクとかも可能というような、これからの材料ですか。それとも自治体のホームページということの中で捉えておられますか。

<事務局>

自治体と限定している訳ではなく、様々な情報を発信していきたいと考えております。例えば観光協会などの情報であっても発信していきたいと考えております。目的はそれらと連携してしなの鉄道を利用していただきたいということです。

オ ありがとうございます。

<議 長>

ホームページを10月1日から全面リニューアルを致しまして皆様もご覧いただいているかと思えますが、しなの鉄道のまきに今の息遣いというか、あるいはその想いというものが、きちんと伝わるような内容にすることをポイントに、少し変え

てみたということです。しなの鉄道が単に線的な展開だけではなく、沿線地域と一体化した面的な展開をするためにも今後ホームページを使って地域の生の声、状況、情報発信をしていく多面的な展開ができるようなホームページにしたいと思っておりますので、是非ご協力をお願いしたいと思っております。

カ 資料（３）の④のＩＣカード乗車券の導入ということでございますが、私共の市では今週の土曜日２７日からＩＣカード「くるる」の路線バスでございますが運用を始めるところでございます。ゆくゆくは、長野電鉄さんや、他の交通機関さんとの連携を視野に入れているところでございます。そういったところも検討いただければと思います。既にソフトの方はある程度作り込みはしてございますので、そこに拡張をすれば、ある程度要望されているような内容につきましてはいけるかなと考えております。今、国の補助が、私共でだいぶいただいております、全体の今の４億６千万のうち四十数パーセント、４４％位いただいております。非常に今有利な状況だと判断しておりますので宜しくお願い致します。

あと、私共では今、オリンピックスタジアムにサッカースタジアムを作ることと決定し、事業を進めているところでございます。完成の暁にはそういったところの需要をだいぶ見込めるかと思っております。そんなところも視野に入れて今後、切符など検討していただければと思います。

それから④番の車両の居住空間の快適化ということでございますけれども、先程アンケート調査の結果を見ますと、軽井沢のほうからお乗りになってから県内へのお客様が結構多いということで今見ているのですが、そういった方が沿線の各観光地に流れるような仕組みづくりが、例えば車両を工夫して観光にも対応できるようなものにするとか、切符を工夫するとか、色々な方法で今後ご検討を一緒にお願ひできればと思いますので宜しくお願ひします。

<議 長>

ありがとうございました。様々なご意見いただきましたが、ＩＣカードの関係につきましては、ここに記載のとおり現在、先進事例の視察等を行っている最中でございまして、私どもの認識としてはいずれＩＣカードの導入は避けられないと思っております。現状におきましては、かなりの投資を要するものですから、費用対効果という観点ではなかなか難しいということがございます。ただ、輸送の円滑化というか増客に向けては色々なバリアを取り除いていく必要があります。その１つには交通手段のバリアであったり、事業者のバリアであったりする訳ですが、そのような観点からＩＣカードは非常に有効でありますので、是非ともこれを私共の課題の１つとして今後多角的に検討していきたいと思っております。

サッカーのスタジアムを長野市さんのほうで計画をされているということでございますが、私共プロスポーツとの連携も増客作戦の１つの目玉として打ち出しております。パルセイロや、サッカーではございませんが、バスケットのブレイブウォリアーズとの連携もどういう形で図っていくのかという部分で、現在のところはま

だまだ、そう大きなインパクトがある形になっておりませんが、これからは是非プロスポーツとの連携を密にするような、もう少し一歩進んだ対応というものを考えていきたいと思っておりますので、そういう面での長野市さんのご協力を是非お願いしたいと思っております。

車両空間の快適化、居住空間の快適化ということで、軽井沢には確かに年間800万人の観光客が訪れているということを考えますと、この800万人をいかに北のほうへ流動化させるかということは、私共しなの鉄道にとっても大きな課題でございます。そのためには何ができるのか、色々と検討をしておりますが、今お話があった観光的な要素の強い車両というものをどうするか、そのような事も含めて、今後は是非、これはまさに地域と連携して対応していかなければならない問題でございますのでお知恵を拝借できればと思っております。

そのような基本的認識は私共も充分持っておりますので、是非宜しくお願いをしたいと思っております。

キ 地域との連携ということで様々に、特に旅行商品の造成につながるようなものも含めてお取り組みをいただいて非常にいいことだと思いますが、例えば、資料の3-1ページで宿場を合わせた、宿場を街めぐりという形で提案をされて、ゆくゆくはプチツアー集を作りたいということをお聞きしました。こういった形でツアーを見せていただくことも大事だと思いますし、もし可能なら、例えばイベント的に追分宿で集合したところで地域の案内をして下さる方と一日巡る企画とか、地域の皆さんと連携をもうちょっと進んで広がると面白いかなという気が一つしました。もう1点、街のステーションとしての駅の活性化ということで、これも3-3ページに戸倉駅朝市の企画が、チラシで載せていただいておりますが、こんな形で各市町の皆さんも農産物などができる時季に合わせて、もっともっと駅が、まさしく、それを目当てに来て下さるような事に広がるような形で拡大できれば色々面白いのではないかという気がしております。

<議 長>

大変貴重なご意見をありがとうございました。是非市町と共に知恵を絞っていききたいと思っておりますが、カラーページにもございますがアニメですね、このラッピング列車を走らせたり、色々取り組みをしておりますが、これはどうでしょうか、小諸市さん、何か感想なりご意見はございますか。

ク このアニメ、私も実は見ていないのですけれども、このアニメによって小諸の町中に、いわゆるそのカメラを持った、言い方は悪いかもしれませんが、オタクみたいなみなさんが結構多くみられるようになって、それに伴って様々なラッピングもそうですし、入場券もそうですし色々な効果へと普及している、街づくりの中でもとても有効な位置を占めているので、とてもいい取り組みだったというふうに感じております。

<議 長>

ありがとうございました。他はいかがですか。

ケ 私共の会に2800人位会員がおりますが、アニメの話をする、「そんなのあったの」というような、ちょっと年齢的な取り組みに色々ギャップがあったように感じます。

あと、さっき乗車券の話がありましたけれども、私共ウォーキング、いわゆる散歩というかトレーニングやっておりますが、団体でしばしば追分に行ったり、それからあちこち行くようになったのですが、しなの鉄道を利用して団体割引の関係を伺い、いい利用方法があればご指導いただきたいと思いますが。

<議 長>

現在、増客に関して企業や、昨年から学校など個別に回りまして、ローラー作戦と称しておりますが、その中でお話を聞くと、しなの鉄道は色々と事業を展開しているかもしれませんが、良く知られていないのではないかと、その例として、今お話があった団体割引というものがあるのかないか、ある場合にはどういう形になっているのかよく知らない。ということがありまして、これは私共にとって大きな反省点でございます。やはりお願いをするからには、常に私共からも情報を発信し、しなの鉄道の今の取り組みを地域に発信していかなければいけないと思っております。今のお話も含めてこれから努力をしていきたいと思っております。

コ 今、着地型観光というお話がありましたが、確かに各市町村で今、地域資源ということが非常に大事になってきて、街歩きや、ちょっとしたスポットを歩くだけでも大きく違ってきています。一昨日、テレビ朝日の番組収録で加山雄三さんが来ました。姨捨や、姨捨から八幡まで歩いてみたり、これからテレビに流しますが、追っかけももちろんいますし、そういった番組が結構増えてきています。

着地型観光でしなの鉄道を使い、降りてからの具体的なコースをもう少し使いやすくした商品、先ほどの追分宿、小諸宿巡りというような紹介もいいたけれど、具体的に、折角あるものなので、もったいないから、それをさらに発展させるような、ローカルな部分で結構ですから各駅ごとに手繰っていくと、ちょっと面白いものができるのではないかなというのが1つ。

それから、またブレイブウォリアーズのシーズンになりますが、今年は幸先良く、今のところ3勝1敗、勝ってくるとみんな上向きになってきますが、去年は負けが込んだ。あの応援に来るお客さんは非常に大事でありまして、外から来るお客さんで、戸倉駅で降りて宿泊をする方が結構増えてきている。そういうものをもう少し大々的に前に出すような部分、具体的にこうだと言われるとなかなか厳しいかもしれませんが、今日は試合があるという告知を、電車の中で行うことを、もう少し出していけばという感想を持っております。

最後に屋代駅の中にウェルカムステーションがありますが、だんだんと認知され

てきて、私共のあんずの製品、あそこに行けばみんなあるぞ、という事がだんだん知れ渡ってきて、「お宅どこから来たの」と聞くと「小諸方面から来ました、長野から来ました」とわざわざ電車で結構来てくれるようになりました。こうした取り組みを今の駅中ではありませんが、屋代駅だけではなく他の駅もそのような部分が生きていくとシーズンごとに屋代駅に行けばあんずとか、この駅に行くと何かがつてというようなイベントを、通しでできるのではないかと。そんな意味では、ちょっと、私共は自信を持ち始めておりますが、そのような事も駅中という視点でできる可能性があると思いますので進めてもらえればいかがかなと思います。

<議 長>

今、お話にあったように千曲市さんでは駅を結ぶ循環バスなど色々な面で非常に工夫をされており、ご協力をいただきまして大変感謝をしております。今、ご指摘のあった内容についても、更にしなの鉄道を利用して沿線中で流動化できるような方策というものを探っていきたい。それにはどうしても地域の知恵が必要でございますので、是非とも知恵を拝借できればと思いますので、宜しくお願いします。

ブレイブウォリアーズのお話もございましたが、昨年、実際戸倉で行われた試合に私も行きまして大変な迫力でございました。立場上戸倉駅から歩いて体育館行きましたが、実はこれが非常に問題があるのではないかと思います。30分近く歩き、確かにいい運動にはなりますが、それを常態化するには遠すぎるのではないかと思います。例えば、連絡バスなども私共としてはあればありがたいと思いますが、そのような事も含めて地元としても色々考えていただければありがたいと思いますので宜しくお願いします。

(4) しなの鉄道開業15周年記念事業について

事務局から「資料4」を説明。

<議 長>

15周年の記念事業のご報告を申し上げましたが、これについて何かご意見ございますか。

サ 189系リレー号、これは定期的に運行されているのですか。

<議 長>

現在、JRから借りております189系の運用につきましては、朝のライナーとして活用しております。その意味では定期的に走っているということになります。ポスターに出ている「189系リレー号」は臨時的に運行した列車です。

<議 長>

先程の説明のように今年は1年間、年間を通して様々な記念事業を行うという事

で、講演会やイベントを開催しております。今後としましては、現在社史の編纂をし、間もなく完成いたします。しなの鉄道15年のあゆみということで、これが出来ましたら皆様にもご紹介したいと思っております。今まで我が社には社史がなかった訳ですけれども、今回初めて、節目の年にできて良かったと思っております。なお、記念事業については単にセレモニーとして行っているだけではなく、15年という節目の年であるということ踏まえ、この間の15年間を検証し、総括するという意味合いもございます。そのような意味でこれまでの15年間を振り返り、今後の15年間、あるいはその先の50年、100年に生かしていく意味で今回の記念事業に取り組んでおります。

節目として更にながらんでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

(5) その他

事務局から「平成23年度地域公共交通活性化・再生総合事業に関する事後評価」について、北陸信越運輸局より二次評価をいただいたことを報告。

<議 長>

予定を致しました議題は以上でございますが、皆様のほうから何かございますか。今回初めてオブザーバーとして飯綱町さんが参加されております。何か一言メッセージはございますか。

シ 飯綱町から参りましたが、ありがとうございます。本来課長が出席すればいいのですが、本日は都合で出られなくなりまして、私が代わりに来た次第でございます。このような集まりというのも私は初めての体験でしたが、長野以北ということで飯綱町の方でも、去年から今年にかけて色々企画をし、投げかけてきているところでもあります。これからも鉄道の利用というところで利用促進的な事を進めて行きたいと思っておりますので、しなの鉄道様の方でも、ご協力を宜しくお願いしたいということで一言といたします。ありがとうございます。

<議 長>

どうもありがとうございます。時間となりましたので、以上で本日の協議会を閉じたいと思います。ご協力ありがとうございました。

1 閉 会

以 上